

36. 知って愉しむ淀川探訪科 (2024年度)

【 火曜日 授業予定表 】 講師: 中川一、綾史郎、鈴木康久、河合典彦、原田禎夫 他

		午 前			午 後		
回	月 日 曜日	講義数	テーマ	内容	講師名	テーマ 内容	
	8 月	①	①入学式&オリエンテーション(合同、大阪国際会議場)				
1 学 期	4	16 火	1	淀川の自然と歴史①	淀川の自然・年間学習予定	河合典彦(元国交省淀川環境委員会委員)①	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明 クラスオリエンテーション
	3	23 火	2	淀川の自然と歴史②	治水・河川生態系	河合典彦②	②大オリエンテーション 終了後班役割説明・班各担当・班長決定
	4	14 火	3	淀川の自然と歴史③	淀川大改修と副産物	河合典彦③	自主活動 クラス委員長決定、第1回遠足先行検討
	5	21 火	4	★淀川左岸0キロ地点を歩く	スーパー堤防、烏宮神社	河合典彦④	校外学習続き
	6	28 火	5	★宇治川探訪	天ヶ瀬ダム他・近辺探索	河合典彦⑤	校外学習続き
	7/8	4 火	6	★淀川大堰・排水機場・毛馬閘門、講義と見学	旧毛馬第一閘門・旧毛馬洗堰・沖野忠雄像探訪	河合典彦⑥	校外学習続き
	9	11 火	7/⑧	未来のために知っておきたいプラスチックの話	未来のために知っておきたいプラスチックの話	原田禎夫(同志社大学経済学部准教授)①	自主活動 ②一社会への参加活動準備(活動事例研究)、コーダイフェスタテーマ検討会
	10	18 火	8	鶴殿のヨシ原	鶴殿ヨシ原の生物(植物、昆虫、鳥類等)とヨシ原の劣化と再生	綾史郎(大阪工業大学名誉教授/イッセンネット会長)	〃 フェスタ/班毎の実施テーマを決定
	11	25 火	⑨	⑨遠足(1)			
	12	2 火	9	暮らしを守る防災①	淀川の特性と治水について	中川一(京大名誉教授・元京大防災研究所所長)	自主活動 フェスタに向けた具体的な行動
	13	7 9 火	10	保津川の取り組み	レジ袋の廃止、新たなゴミ問題など亀岡市の状況など	原田禎夫②	〃 同 上
	14	16 火	11	暮らしを守る防災②	最近の異常な水害について	中川一②	〃 同 上
		8		夏 休 み			
	2 学 期	15	17 火	12	★京都大学防災研究所	宇治川オープンラボラトリー	川池健司(防災研究所流域災害研究センター准教授)
16		24 火	13	★琵琶湖疏水探訪	琵琶湖疏水記念館、南禅寺水路閣、蹴上院インクライン	河合典彦⑦	校外学習続き
		1 火	5	★宇治川探訪	天ヶ瀬ダム他・近辺探索	河合典彦⑤	校外学習続き
17		8 火	14	暮らしを守る防災③	今後の防災減災について	中川一③	自主活動 健康まつり最終確認
18		10 17 木	④	④コーダイ健康まつり			
19		22 火	15	京都鴨川追究	景観の変遷と河川域の活用	鈴木康久(京都産業大学教授・カッパ研究会)①	自主活動 フェスタ発表作品作成、微調整
20		29 火	16	★城北ワンド自然観察	旧堤防後から城北ワンド群	河合典彦⑧	自主活動 フェスタ発表作品再確認、微調整
21		5 火	17	三川合流の景観	河川整備による景観の変化	鈴木康久②	自主活動
22		11 13 水		⑤コーダイフェスタ			
23		19 火	18	★伏見と三栖閘門	水位差調整の三栖閘門と三栖閘門資料館	河合典彦⑨	校外学習続き
		26 火		予備日			
24		3 火	19	江戸期における舟運と河川管理	文書と絵図から読み解く	鈴木康久③	自主活動
25		12 10 火	20	★京街道文祿堤を歩く	旧堤防道、日本最古の堤防「茨田堤」の築場起源の堤根神社	河合典彦⑩	校外学習続き
26		17 火	21		自主企画講座		自主活動
			冬 休 み				
3 学 期	27	14 火	22	★淀川の野鳥観察	十三干潟付近(予定)	和田太一(NPO法人南港ワットランドグループ)	校外学習続き
	28	1 21 火	⑥	⑥社会への参加活動・・・(仮日程;1学期~3学期の間に活動日を1回設定)			
	29	28 火	23	「名所図会」のなかの淀川	三川合流地域の下流域(大阪府域内)	西野由紀(天理大学教授)	自主活動 成果発表会準備
	30	4 火	24	★津波・高潮ステーション	安治川トンネル通行、渡し船体験(河合典彦⑪	校外学習続き(暫定案)
	31	2 18 火	25	水のまち大阪を巡る	絵画や作品から淀川の情景と魅力再発見	服部麻衣(大阪くらしの今昔館学芸員)	自主活動 成果発表会準備
	32	25 火	26	学習成果発表会			
	33			⑦修了式			
	34	3 4 火	⑧	⑧・⑨卒業旅行(1泊2日)			
	35	5 水	⑨				
	授 業(自主企画、成果発表会含む)			26(講座数列1~26)			
学 習 事 業 (① ~ ⑨)			9(講座数列①~⑨)				
合 計			35				

2024. 7.24 .改訂版

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。